

## 今日のトピック 高値に迫るインド株、新型コロナの新規感染が減少に転じる 予想利益も上昇に転じ、株式相場をサポート

### ポイント1

#### インド株は堅調推移 SENSEXは8カ月ぶりの高水準

- インド株式市場は、10月に入り、上値余地を試す堅調な展開となっています。代表的な株価指数のSENSEX指数は、10営業日連騰となるなど大幅に上昇し、約8カ月ぶりに節目の40,000ポイントを回復しました。米株式市場が反発したことや、インド財閥大手のリライアンス・インダストリーズの小売子会社、リライアンス・リテールに向けた、シンガポール政府投資公社や米ファンドからの出資などが好感されました。足元のSENSEX指数は、過去最高値に迫る水準まで上昇しています。

#### 【SENSEX指数と外国人買い越し額】



### ポイント2

#### 上昇に転じたEPS 海外からの投資相次ぐ

- SENSEX指数の予想一株当たり利益（EPS）をみると、EPSが上昇に転じていることが株価上昇を後押ししていると考えられます。コロナ禍においても、IT大手のインフォシスは予想を上回る好決算を発表し、今年度の見通しを上方修正しました。
- また、株式上昇の背景には、長期的な経済成長期待に伴う海外からの資金流入があるとみられます。特に7月以降は米IT大手などからリライアンスをはじめとするインド企業への投資が相次ぐなど、海外マネーの流入が加速し、SENSEX指数を押し上げたとみられます。

#### 【SENSEXの予想PER、EPS】



### 今後の展開

#### インド株式市場は新規感染減少や業績改善がサポート

- インドの新型コロナ感染者は累計700万人を超え、感染拡大が続いていますが、1日当たりの新規感染者は、9月上旬と比べれば大幅に鈍化しています。こうした中、政府が経済活動の再開を優先していることや、予想利益が改善していることから、海外からの投資資金の流入は続くと考えられ、インド株式市場は底堅い展開が見込まれます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

### ここも チェック!

2020年10月20日 アジア・トーク「インドの金融政策は「玉ねぎ価格」に注目」  
2020年 9月29日 中長期的なインド株のキーポイント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。